

農福連携推進 東北ブロックセミナー

～ 地域とつながる農福連携 ～

農福連携は、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組であり、国際連合が定めたSDGs(持続可能な開発目標)の「すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長及び働きがいのある人間らしい仕事の推進」にも資するものです。

また、政府は、農福連携の一層の推進を図るため、令和元年4月「農福連携等推進会議」を設置、同会議が決定した「農福連携等推進ビジョン」で「国・地方公共団体、関係団体等とはもとより、経済界や消費者、更には学識経験者等の様々な関係者を巻き込んだ国民的運動として推進していくことが重要である」とされました。農林水産省では、国民的運動として農福連携を進めるため令和2年3月、関係団体・関係者とともに、「農福連携等応援コンソーシアム」を設立したところで

す。
これらを踏まえ、東北地域における持続的な農福連携の取組の定着に資するため、農福連携推進東北ブロックセミナーを開催します。

日 時

令和4年3月8日(火) 13:30～16:30

(接続開始12:30)

会 場

オンライン開催(Zoom)

参加費
無料

プログラム

1 基調講演

さんさん山城 施設長 しんめん おさむ 新免 修 氏

「農福連携を通じた地域づくり(仮題)」

～ 京都府京田辺市で宇治茶の手摘みやエビイモの手掘りなど、障害者の手作業により、高品質な京都の伝統野菜を生産し、コミュニティカフェなどで提供 ～



(えびいも豚汁定食:さんさん山城)

2 取組事例発表

～行政機関や福祉法人で行われている、農福連携の取組についてご紹介していただきます～

- ①宮城県農政部農業振興課
- ②社会福祉法人 臥牛三敬会(宮城県角田市)
- ③社会福祉法人 こころん(福島県泉崎村)



(農福マルシェ みやぎ)



(工房にじいろ:臥牛三敬会)

3 質疑応答

4 施策紹介

東北厚生局、宮城労働局、東北農政局

※出演者及び内容は変更する場合がございます。

主催:東北農政局／共催:東北厚生局、宮城労働局



(こころんファーム:こころん)